

なのはな

NPO法人 なのはな
◇あおぞらキンダーガーデン
◇まほろば
◇わとと・あおぞら
〒420-0961 静岡市葵区北226-1
TEL/FAX 054-246-2213
E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp
npn-mahoroba@uv.tnc.ne.jp
URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

子どもの笑顔があふれる事を願って

今年も厳しく暑い毎日でした。

まだまだこの残暑は、続くと言っていますが、夜になると土手の草むらから「虫の音楽会」が、聞こえてきます。やっぱり秋は、そこまで来ているのかな?と思うと、にぎやかな虫の声にほっとするこの頃です。

8月に「気になる子と言わない保育」(ひとなる書房)を出版しました。

きっかけは、長く幼稚園・保育園で大事にしてきた子ども観や保育観が大切にされず「個」や「障害」が重視され「集団=なかま達」があまり語られない状況があるからです。本の中では、

★子ども達のどんな姿の中にも、思いがあること

★子どもの意欲や主体性は、『楽しい』『面白い』感情体験をしている時に発達していく姿が、たくさん詰まっています。

保育は、子どもに障がいがあっても、なくても全ての子が、楽しくてたまらない保育を創ることが、今求められています。

子ども達の笑顔があふれる保育が、いろいろな所で花咲く様、願っています。

さて、今日から9月。幼稚園の子ども達も久しぶりに集まり保育が、スタートします。夏の生活の疲れが9月に出ると言われます。まだまだ残暑が厳しい時ですので、体調管理には、気をつけましょうね。

そして9月は、4月から育ってきた力を土台に、子ども達一人ひとりの力とともに、友達の関わりを深め、楽しい園生活を創っていきたいと思っています。

大人もそんな子ども達にパワーをもらい、子育てを楽しんでいきましょうね。スタッフ一同どうぞよろしくお祈りします!
(おか)

あおぞらキンダーガーデン20周年YEAR

★ H25年12月 子育て講演会 対象：父母

あおぞらの「保育と子育て」が分かる笑いと涙の講演会です。

★ H26年1月18日 14時半「森は、いきている」劇団なかま (40人編成の大掛かりな舞台劇です)

静岡市民文化会館 中ホール 子ども (高校生まで) 3900円 大人 4900円 (前売りは、4月からです)

対象：ストーリーが分からなくても生の劇は、感性を丸ごと揺すぶられ、小さい子から大人まで見ごたえ十分です。保育者や教育者の専門職としての感性を磨く機会にもなりますので是非多くの方の参加をお待ちしています。(劇中で歌われる「たきび」のうたは、園でも唄っています)

★ H26年3月 「ありがとう パーティー」 対象：大人

皆様に感謝を込めて!

あおぞらキンダーガーデン20周年企画

第1段 あおぞらセミナー

「気になる子と言わない保育」…どの子ども輝く保育創造のために…

7月27日にこの講演会が行なわれました。講師に赤木和重（神戸大学准教授）を招いて岡村園長とのW講師での講演会に100名の方が参加して下さいました。

参加者の方からたくさんのご感想・ご意見を頂き、この講演会が保育・教育に関わる方たちのはげみ・力・元気に繋がることを祈っています。

とても楽しくお話を聞くことができました。ありがとうございました。具体的な例の中で「これある！」と思うことがいっぱいでした。その中で…普段の自分の保育を反省するばかりでした。15年前、自分が実習生として保育室に入り、子どもと過ごして楽しく自分が興奮して眠れなかった日々を思い出しました。初心に帰り、子ども一人一人の心と向き合うこと…そのところを引き出し仲間を広げられるような動機付け…アイデア。創意工夫、自分の持っているもの+スタッフのもってるものを合わせて…志を高く持っていきたいです。

保育の仕事がもっと楽しくなるように、子どもが楽しいと感じて楽しさを共有できるような保育をしていきたいと改めて思いました。講演を聞きながらいろいろなアイデアが浮かんできたので実践していきたいです。

どこか、気になる子に意識が行き自分が余裕なく保育していたように思うのでまた自分の保育を見つめ直しがんばっていききたいです。

3人の講師の方がそれぞれお話し下さったので、色々な目線からのお話が聞けて面白かったです。

“楽しい保育”という言葉が何回も出てきて、気になる子に対し、どうしよう、と困るのではなく、まず“気になる子”と思わずにその子に向き合い、共感していけたらと思いました。“楽しい保育”を作っていけるよう子どもとじっくり関わりたいです。

気になる→保育・保育者（先生）が気になるってドキッとしました。保育者の力量が問われる…なあと。
早期発見（障害）も大切だけれどまずは保育や環境を整えること大事だと思う。どの子からも学ぶチャンスがあり集団作りのチャンスがあることも学べました。

「気になる子」と言わない保育

定価（本体1800円+税）

ひとなる書房

神戸大学 赤木和重 / あおぞらキンダーガーデン・平島幼稚園 岡村由紀子
臨床発達心理士 金子明子 / 臨床発達心理士 馬飼野陽美

が出版されました。絶賛発売中！！！！

この頃の私は「正しい」にこだわっていたんだなあどハッとさせられました。何か苦しい、楽しくないともやもやしていた気持ちがすっきりしました。ただ講演を聞くだけでなく、考えて同じテーブルの人と話してというやり方が面白かったです。岡村先生のズバツと明快なお話、赤木先生のほんわかでも鋭さのあるお話、とても心に響きました。ありがとうございました。

3名の先生方（現場にいる先生、心理学の先生）の講演を聴かせて頂き、自分自身の視野が広がりました。“子どもの目線で考える”ということを書いて頂き、今までの自分の保育は自分の都合ばかり押しつけているという恐ろしい保育だったなあと思います。楽しい保育を展開できるように導入（意識付け）をもっと工夫しなくてはならないなと思いました。保育の中で子どもたちの笑顔が増えるよう努めていきたいなと思います。

“楽しい保育”は子どもの中にたくさんつまっている！それを私たちがどう耳を傾け引き出すかが大切だと思いました。保育は本当にステキなお仕事ですね。明後日、早く子どもたちに会いたいし、仲間にも研修のことを伝えたいです。

深い内容なのにとっても「楽しい」講演会で、もっともっと聞きたくなりました。心理と保育の立場の違いも衝撃的でした。いつの間にか「正しい」教育とか児童のあるべき姿を勝手に決めて、うまく当てはめようとしていた自分に気づくことができ本当に感謝しています。事例が多く分かりやすかったです。

気になる子に対して、その子をどうにかしようと思うのではなく、まずは自分の保育を見直し“楽しい”“やってみたい”と子どもが興味をもてるような動機付けが必要だと言うことを学び、自分の保育を見つめ直してみようと思った。

この度、まほろばに、

平成25年度 静岡市社会福祉協議会特別基金助成金
(宮地三千代・展江 特別基金助成金) を頂きました。

大切に使用させていただきます。

助成対象備品：知能検査 (WISC-IV) / PVT-R 絵画語彙発達検査

わとと・あおぞら

いっしょにお弁当をたべながら

猛暑が続いたこの夏、汗をふきふき来所して下さった親子のほとんどの方が、「ゆっくりしていきたいな」とお弁当を食べていきました。

スタッフも交えお弁当を囲みながら「こう暑いと、親子で食欲がおちて。」「あれこれ作るけど、なかなか食べてくれない。」「台所に長時間いたくないから、毎日手抜っぽくなってしまふ。」などと日々の悩みが・・・

「旬のトマト、きゅうりは切るだけ、とりには電子レンジでチン！すぐできるよ、蒸し鶏。」

「おかゆも冷凍してつくりおきしてるよ。」

「水分摂取が多い時期で、食べむらもあるから、一日単位ではなくて3～4日みていこうか。」

ママのイライラを子どもは感じとるしね。まあいいかあも大事かも・・・ね。」

リラックスした雰囲気の中、いろいろなアイデア、お勧め離乳食レシピもやり取りされています。

9/5(木)には2月にわととで仕込んだお味噌の味見会があります。

おみそ汁を囲んで一緒にお弁当をたべましょう！

<かよみ>

城東子育て支援センター あんと

あんとにいっぱいの利用者さん、ありがとう！！

NPO法人なのはなが運営し始めて、もう5ヶ月がすぎました。

- ・ 子ども達に、刺激が少なく温かさのある布・木製おもちゃをとりいれてる
- ・ 1番おながやすく時間に閉めないで、昼食をとれること
- ・ 気軽に臨床発達心理士に相談できること

この3つがあんとの柱です。

6月後半から、おやこで120人を越える日もたくさんあり、まるで夏の海の家のように嬉しい限りです。

利用者の父母は、スタッフにこんなことを言ってくれます。

「いままでは、こんなに混むことなかったですよ、家にはない木のおもちゃがやっぱりいいからかな・・・」

「心理士がいてくれるところなんてないですよねえー、先生たちもいて、すごいと思うのに話をきいてくれてありがたい・・・」

「お昼が食べれることっていいですね、帰ったら寝てくれるし助かる」
「水遊びさせてくださりありがとうございます。プール=楽しいと思ってましたが、うちの子ぜんぜんダメでギャン泣きのとき、先生がゆっくり足からじょろでかけてのを見て、まじで??情けない・・・うちの子って思いましたが重ねて何回か来たらしい顔になりました！！」と素直なママの気持ちををはなしてくれました。よかったね、初めてのことは大人だって緊張したりできなかつたりするよね、大丈夫だよゆっくり見守ろうねお母さんにとって難しいけど、あまり周りの子と比べすぎないことが大事だよ、月齢差・個人差があるもんね・・・おもしろい・やってみようって思うといつかやるときがくるからさ・・・ほら、何回かきたらしいお顔じゃん！！と話す「そうかー」と納得し、まわりのお母さん達と顔を見合わせた。7・8月の水遊びもたくさんのおやこが楽しんだ。9月も暑い日は行っていきたいです。【月・水】

あんとも、利用者さんであふれ、靴箱が満員で入れられない・・・日が続いていました。嬉しいことです8月末、市で購入していただいた木製の靴箱と発注していた乳児用滑り台が完成し届き、子どものいい笑顔がいっぱいです。大切にしていきたいです。

<せり>